

(様式 1-3)

山武市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 24 年 11 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	3	事業名	小中学校避難用外階段設置事業	事業番号	A-2-1
交付団体	山武市	事業実施主体 (直接/間接)	山武市 (直接)		
総交付対象事業費	31,778 (千円)	全体事業費	31,778 (千円)		
事業概要					
<p>海岸部にある小中学校 (蓮沼中学校・緑海小学校) に外階段を設置し、屋上を一時的な避難施設として整備し、近隣住民の安全確保を図る。</p> <p>○緊急避難用の外階段整備及び屋上整備</p> <ul style="list-style-type: none">・緑海小学校 校舎 昭和 56 年 11 月 RC3F 平成 16 年耐震診断済 (適合) 屋上までの高さ 9m 屋上使用可能面積 700 m² 1 m² 当たり 2 人換算で 1400 人避難可能・蓮沼中学校 校舎 昭和 47 年 3 月 RC3F 平成 22 年耐震補強済 屋上までの高さ 9m 屋上使用可能面積 400 m² 1 m² 当たり 2 人換算で 800 人避難可能 <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>					
当面の事業概要					
○小中学校避難用外階段設置事業： 3 階建て校舎外階段 2 基設置 31,778 千円					
<平成 24 年度>					
緑海小学校津波避難階段増設工事設計業務 1,607 千円					
蓮沼中学校津波避難階段増設工事設計業務 1,050 千円					
<平成 25 年度>					
緑海小学校 津波避難階段増設工事 17,062 千円					
緑海小学校 津波避難階段増設工事監理業務委託 725 千円					
蓮沼中学校 津波避難階段増設工事 10,725 千円					
蓮沼中学校 津波避難階段増設工事監理業務委託 609 千円					
東日本大震災の被害との関係					
<p>海岸線から直線距離で約 8km に渡って平野部が広がる本市では、今回の東日本大震災において多くの津波被害が発生した。発災直後の大津波警報発令により市長が避難指示を発令。海岸地域の 11 箇所の避難所には 2,000 人を超える市民が避難した。</p> <p>特に蓮沼中学校は海岸からの距離が 1.5 km、緑海小学校は 1.8 km に位置し、海岸部における防災拠点として、蓮沼中学校に 100 名 (隣接の蓮沼スポーツプラザ (2F 建) には、800 名)、緑海小学校には 300 名が避難した。</p> <p>このことから両校 (RC 造 3 F 建) に外階段を設置し、周辺住民の一時的な避難場所として整備し、津波からの緊急避難体制の確保を図る。</p>					
※区域の被害状況の概要					
●建物被害棟数が 1,201 棟 (全壊 48 棟、大規模半壊 182 棟、半壊 377 棟、床下浸水 275 棟、その他 319 棟)					
●浸水面積 9.4k m ² (千葉県内で最大規模)、最大陸地到達距離は 2,960m (松尾町折戸地先)					
●震災当時の避難所は 13 箇所を開設、累計避難者数 3,995 人 (内福祉避難所 246 人) 最大避難者数 2,149					

人（3月11日20:00現在）

●市が実施した被災者アンケートでは、災害時に特に危険と思われることとして「海岸線の後背地が平坦であること」607人（65.3%）、「安全な避難場所が少ないこと」287人（30.9%）という結果が出ている。

関連する災害復旧事業の概要

○道路橋りょう災害復旧事業

被害を受けた道路・排水路の復旧を行い、避難道路としての役割を果たせるよう整備を推進する。

○木戸川堤防復旧復興事業

津波により被災した木戸川堤防について、質的改良を伴う災害復旧工事を実施する。